

京都市 緑のボランティアセンター ニュースレター

令和4年3月号



京都市緑のボランティアセンターでは、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、緑に関する情報や取組みを御紹介します。

街路樹サポーターの御紹介

京都市では「世界で最も美しい都市・京都」の実現を目指し、市民の皆様と京都市が共に汗して、街路樹がすこやかに生育するよう、街路樹とその周辺部の美化や緑化に取り組んでいただく「京都市街路樹サポーター制度」を推進しています。今回は堀川通（蛸薬師通～錦小路通）の東側、堀川高校前の街路樹帯3か所の街路樹サポーターとして活動されている「堀川みどりのまちづくり会」をご紹介します。

堀川みどりのまちづくり会の活動



堀川高校前の「市民花壇」



カワラナデシコ



キクタニギク

「堀川みどりのまちづくり会」（柴田晴美会長）は平成28年に発足し、平成30年に街路樹サポーターとなりました。現在10名の会員のみなさんで活動しています。同会が管理する堀川高校グランド前の大きな街路樹帯は、現代に合った市民参加型の都市緑化活動を「堀川みどりスタイル」として提案し、京都市の「市民花壇」の認定を受けました。四季を通じた京都の風土・文化を感じられる和の花を中心に様々な植物を植えています。

管理が行き届いた花壇は春にはシャガやテッポウユリ、夏から秋にはヒオウギ、カワラナデシコ、冬になるとニホンスイセンなど季節ごとに花が咲き、堀川通を歩く人々に癒しを与えてます。

また、歩道をはさんで堀川通に面した街路樹帯は雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った「雨庭」として、京都市が令和2年度に改修し、同会が市民花壇とともに見守っています。

歩きたくなる堀川通に

「堀川通は、御池通より南側の堀川が暗渠化されてから緑が少なくなってしまった寂しくなりました。歩道の広さをいかして花とみどりあふれる通りにしたいと思い活動を始めました」と会長の柴田晴美さんが活動のきっかけを話してくれました。月2回の定例活動では、主に花壇の育成・除草等の手入れや清掃等を行っています。会員の皆さんには「夏季のかん水、除草が大変です」と笑顔で話します。



定例活動の様子

令和3年7月には、かつての堀川の水辺に思いを寄せると、水辺には縁があることから、京都に所縁のあるキクタニギクを市民花壇と雨庭に植付けました。植付けに関しては、事前にキクタニギクの特徴、植付け方、管理の方法等を学びました。植え付けたキクタニギクは順調に根付き、秋になると見事に花を咲かせ堀川通に彩りをそえました。

柴田会長は、「堀川通を歩く人に花とみどりを楽しんでもらい、さらに木陰を感じられる通りにしたいです。また、他団体との協同作業など、活動の輪を広げ、歩道を活用したイベントなどを計画しています。新規会員も募集していますので、ぜひご参加ください」と今後の活動についての思いを語ってくれました。みどりをいかした通りにするためには利用する人々が意識を向け、積極的に維持管理関わることが必要となります。歩いて楽しいみどり豊かな堀川通の実現を目指してこれからも活動に取り組まれます。



キクタニギクの植付け講習会



大蛇ヶ池公園 ペンキで魅力向上！プロジェクトの御紹介



西京区洛西ニュータウン内に位置する大蛇ヶ池公園には大きな池があり、周囲に約210mの転落防止柵があります。この度大蛇ヶ池公園愛護協力会と京都府立洛西高等学校の生徒が連携して、老朽化した柵のペイントを塗り直す活動が行われましたので、その様子を御紹介します。

地域ボランティアと高校生 公園をもう一歩きれいに

大蛇ヶ池公園愛護協力会では、平成20年から地域在住のボランティアを中心に、大蛇ヶ池公園の毎日の清掃活動等を実施されています。

洛西高校では、平成30年度に生徒が「自分たちの生きる地域、社会を再発見し、再創造、再構築を目指す」ことを目的として、「洛再Links（リンクス）」というプロジェクトを立ち上げ、地域とつながる活動を行っています。立ち上げ時から大蛇ヶ池公園愛護協力会と月に1回、公園の清掃活動に共に取り組んできました。

令和3年7月からは、愛護協力会と洛西高校の協働による「大蛇ヶ池公園 ペンキで魅力向上！プロジェクト」が始まりました。



手すりのペイントを塗り直す
洛西高校の皆さん

4回目の作業日の同年12月11日には、愛護協力会から8名、洛西高校から1年生22名、教員4名が参加。紙やすりでさびや汚れを落とした後にハケやローラーを使い茶色のペンキを塗りました。

参加した生徒の皆さんの中には前回からの参加者も多く、「おなかにペンキがつくので裏側から塗るのがコツです。柵の間からローラーを入れて裏側を塗ると作業しやすいです」と慣れた手つきでペンキ塗りを進めてされました。公園愛護協力会の岩倉紘一會長は「高校生のパワーはとても助かります。お話ししながらの作業がにぎやかで楽しく感じます」と、高校生との共同作業も公園愛護活動の楽しみの一つとなっています。



ペンキが剥げ落ち
サビが目立つ



塗り直してきれいに！

未来を見据えた公園づくりを



1時間ほど作業を続けるときれいな柵に生まれ変わり、明るい空間となりました。岩倉会長は「洛再Linksは大変素晴らしい活動だと感謝しています。地域を良く知り、地域と繋がろうと元気一杯に実践されている事に敬意を表します」と高校生の活躍を頼もしく感じられています。

このような活動を続けていくことで地域の輪が広がり、安心して利用できる公園づくりにつながっています。ペンキプロジェクトに協力している西京区役所洛西支所は「この取組により高校生の地域愛を深め、次世代のまちづくりの担い手を育成していく、更には、地域住民の力で公園の景観を向上させることで、まちの魅力を高めていきたいです」と期待しています。

道路や公園等の
損傷箇所
投稿アプリ



みっけ隊アプリをダウンロード!!

みっけ隊 で検索！

みっけ隊ホームページ

<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp>

ANDROID APP ON
Google play

Available on the
App Store



「新しい生活様式」
を心がけて公園を
使おう！
～4つのポイント～



体調が悪いときは
利用を控える



時間・場所を選び
ゆすりあおう



人と人との
あいだをあけよう



こまめに
手洗いしよう



- ・大人数や長時間の飲食や、飲酒を伴う集まりは控え、会話のときはマスクをしましょう。
- ・新型コロナウィルス感染症の拡大を防ぐためには、体を動かしたり、屋外でリフレッシュし、心と体の健康を保つことも大切です。マナーと思いやりを大切に身近な公園を利用しましょう。

出典：国土交通省作成「新しい生活様式」を踏まえた公園利用のポイント（2021年4月26日版）

～京都市自治記念式典での表彰～

京都市では、活動の顕著な公園愛護協力会及び街路樹センターの、皆様を京都市自治記念式典（毎年10月15日）における「未来の京都まちづくり推進表彰」に推薦しております。今年度は、以下の19団体に表彰状が贈呈されました。

公園愛護協力会

鏡石公園愛護協力会 様（北区）
テラス公園愛護協力会 様（左京区）
宮ノ内公園愛護協力会 様（東山区）
坂上田村麻呂公園愛護協力会※（山科区）※京都市市民憲章推進者表彰
西塩小路久保公園愛護協力会 様（下京区）
三反田公園愛護協力会 様（右京区）
西新林公園愛護協力会 様（西京区）
東古御香公園愛護協力会 様（伏見区）

中村公園愛護協力会 様（上京区）
生祥公園愛護協力会 様（中京区）
六兵衛池公園愛護協力会 様（山科区）
上開ノ内公園愛護協力会 様（南区）
梅園公園愛護協力会 様（西京区）
本多上野公園愛護協力会 様（伏見区）
江奈志公園愛護協力会 様（伏見区）



街路樹センター

八幡宮 様（北区）
京都中央信用金庫御池支店 様（中京区）

アリコ・ルージュ 様（左京区）
福和会 様（西京区）

お知らせ

御池通に設置している「御池通スポンサー花壇」において、春の植替えを行いました。近くをお通りの際には、ぜひ御覧ください。

御池通スポンサー花壇とは

京都市では、市民の皆様との協働により四季折々の草花を身近に楽しむことのできる「御池通スポンサー花壇」を設置し、歩いて楽しい緑と花いっぱいのまちづくりを推進しています。御池通（堀川通～鴨川間）に34箇所の花壇を設置しています。



◆オステオスペルマム
株を埋めるように次々と咲くカラフルな花が特徴。
半日陰で管理すると花が長く楽しめます。

スポンサー・センター募集中！

花壇の育成管理に対する御協賛いただける企業・団体（スポンサー）、日常管理や植替えに御協力いただける方（センター）を募集しています。
詳細：みどり政策推進室（222-4113）



◆ゼラニウム
乾燥には強い反面、過湿には弱い性質を持っています。温度が適していれば一年中開花します。



京都市 緑のボランティアセンター 専用窓口のご案内



緑のボランティアセンターでは、団体の活動に関する技術的指導・支援やボランティア団体の橋渡しなど、さまざまな支援を行っています

お気軽に
ご相談
ください

電話：075-352-2535（梅小路公園内専用回線）
場所：梅小路公園緑の館2階ロビー（京都市下京区觀喜寺町56-3）
時間：午前9時～午後5時まで 月曜日を除く毎日（年末年始12月28日～1月4日休み）